

COMPASS

学校法人 産業医科大学
〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
TEL/093-603-1611(代表)



事業代表 学長
上田 陽一

ご挨拶

令和5年度から始めました3カ年計画の学生支援プログラム「将来のキャリア形成学生支援」の2年目が終了しました。新型コロナウイルス感染症の流行のため十分な活動ができなかった令和2～4年度に実施されました「新しい学生支援+α」と比較しますと、このプログラム2年目では産業医学推進研究会全国大会（大阪）参加など、対外的な活動プログラムがより活発になったことを嬉しく思います。

今回の学生支援プログラムでは、これまで学生支援プログラムの柱となってきました3つの力（仕事力、人間力、発信力）に将来の3つのキャリア形成プラン（キャリア・オリエンテーション、キャリア・ベーシックス、キャリア・コミュニケーション）を含むことで将来のキャリア形成を具体的に支援する内容となっています。そして、在学中のこの学生支援を通して卒業後の「キャリア形成プログラム」にシームレスに移行することができるように配慮されています。また、留学経験教員との懇談会の実施など国際的な視野を広げるための新たな取組も実施されました。

卒業後の進路・キャリア形成に悩むこともあろうかと思えます。将来のキャリア形成のためにこのプログラムでの体験が必ず役立つと確信しています。

学生支援プログラムの実施にあたり、多くの教職員の方々・学内外の関係者の皆様にお世話になっています。この場をお借りして皆様方に心より御礼申し上げます。引き続きのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



医学部長
酒井 昭典

「将来のキャリア形成学生支援」の2年目を終えるにあたり

学生支援プログラム「将来のキャリア形成学生支援」は令和5年4月から令和8年3月までの3年間、取り組んでいく予定です。本事業の内容は「仕事力×キャリア・オリエンテーション」「人間力×キャリア・ベーシックス」「発信力×キャリア・コミュニケーション」の3本柱から構成されています。

現在、2年目を終える段階ですが、計画通りに実施できています。この事業のいくつかのプログラムと学生の実際の感想をここに記載いたします。(1) 1日産業医密着体験：労働者の健康を第一に考え、予防に徹している産業医の姿はとてまかつよく思えた。(2) 産業医・産業医経験教員との合宿：自分で考えて道を作っていく産業医の生き方を知ったことで産業医が今までよりも魅力的に感じた。(3) 学生・教員交流会（夕食付）：知らない分野の話や進路の話が聞けて大変参考になった。(4) 産業医学推進研究会への参加：大学の講義では習得できない産業医学についてのノウハウを学ぶことができた。いずれのプログラムも学生からは好評でした。

本プログラムは、医師に求められているプロフェッショナリズム（社会的使命への貢献、倫理・道徳、多様な価値観の受容と公正性への配慮、専門性の追求と生涯学習）を学生に涵養する人材育成事業です。本事業を支援して下さっている卒業生や教職員、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

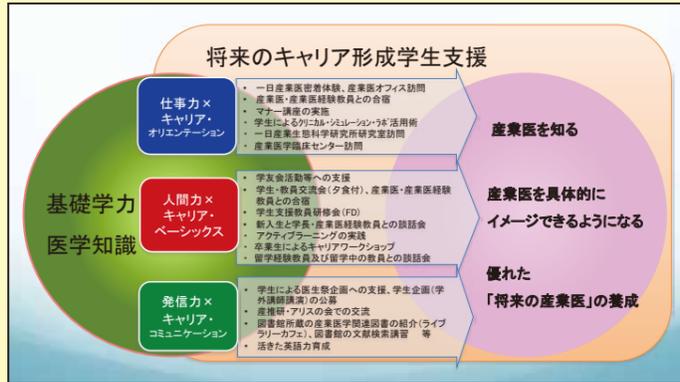
令和5年度～令和7年度

学生支援事業「将来のキャリア形成学生支援(3つのキャリアプラン)」

学生支援プログラムは、文部科学省から選定された「大学と企業の連携で育成する統合学生支援」プログラム（平成20年～23年度）に始まり、優れた「将来の産業医」養成のため、継続的にプログラムの見直しを図りながら実施してきました。平成29年度～令和元年度は、『新しい学生支援+3つの+（プラス）プラン』を実施し、令和2年度からは、『新しい学生支援+α』が始まり、令和4年度終了しました。

そして、令和5年度からは、学生の将来のキャリアを見据えた学生支援「将来のキャリア形成学生支援」として、以前まで実施してきた3つのプランに人生プランを見据えた更なる充実を図りました。

「将来のキャリア形成学生支援(3つのキャリアプラン)」概念図



仕事力×キャリア・オリエンテーション

- ◆どのような人々（労働者）がどのような環境で仕事をしているのか、現場を知る（現場力）
- ◆労働者の健康管理を行う上で何が課題となっているのか、課題を明らかにする力を養う（課題探索力）
- ◆社会人として求められるものを身につける（社会人基礎力）

人間力×キャリア・ベーシックス

- ◆将来、チームで働くためのコミュニケーション能力を身につける（コミュニケーション力）
- ◆学生としての健全な生活習慣を身につける（持続力）
- ◆メンタルヘルス対策として学生支援体制を強化する（学生支援力）

発信力×キャリア・コミュニケーション

- ◆何事にも当事者意識を持ち、主体的な行動ができる（行動力）
- ◆対外的な場で情報や人との繋がりを得ることができる（対人関係力）
- ◆自分の考えを適切に相手に伝える力を磨く（自己表現力）
- ◆情報を収集する力を養う（情報収集力）

仕事力×キャリア・オリエンテーション

マナー講座

日時/令和6年7月18日(木)14:50～15:40
場所/大学本館2号館2階 2205講義室
参加者/1年次生 104名

7月18日(木)に医学部新入生を対象にマナー講座を開催しました。

講師に株式会社アソウ・ヒューマニーセンター教育事業部 講師 大隈 多恵先生をお招きし、身だしなみや言葉遣い、お辞儀の仕方等企业訪問や学会へ出席する際のビジネスマナーを指導していただきました。



一日産業医密着体験

日時	訪問先	参加者
令和6年8月21日(水)	トヨタ自動車株式会社 本社 (愛知県)	2名
令和6年8月22日(木)	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 熊本テクノロジーセンター (熊本県)	2名
令和6年8月28日(水)	三菱ケミカルグループ株式会社 本社 (東京都)	2名

1年次生6名が2名1組となって3企業を訪問し、自らの産業医像の構築に役立てることを目的とした「一日産業医密着体験」を実施しました。訪問先では産業医として働く先生に一日密着し、職場巡視や面談の見学等を行い産業医への理解を深めるよい機会となりました。

10月12日(土)開催の第42回産業医科大学学会においてポスター発表をしました。

参加した学生の感想

- ・産業医は臨床医と比べ、より人と人との繋がりが重要になってくる。自身も医師としての知識や技術を獲得するだけでなく、他者から信頼される誠実な人柄でいられるように努めようと感じた。
- ・従業員を第一に考え予防に徹している産業医の先生の姿はとてまかつよく思えた。
- ・臨床医も産業医も、コミュニケーション能力が求められ、意見を受け入れてもらうためにもこの力が大切であると学んだ。



仕事力×キャリア・オリエンテーション

産業医・産業医経験教員との合宿

日時/令和6年9月7日(土)～8日(日)
場所/ホテルクラウンパレス北九州(北九州市八幡西区東曲里町3-1)
参加者/1年次生 25名



参加した学生の感想

- ほかの参加者と意見を交わすことで、様々な視点から問題をとらえることができ、視野が広がったように感じた。
- 産業医学の最前線で働かれている産業医の先生方のお話を聞き、産業医という職業が今どんな立ち位置にあり、産業医学が占める社会での役割や産業医学における産業医科大学の影響力などを知ることができた。

9月7日・8日に産業医・産業医経験教員との合宿をホテルクラウンパレス北九州にて実施しました。卒業生産業医2名の講演を聞き、産業医像についてラウンドテーブルディスカッションでグループに分かれ、意見をまとめ、発表し、夕食後に4名の先生方(卒業生産業医2名、佐藤学生部長、一瀬進路指導部長

とテーブルを囲み質問や意見交換が活発に行われました。

卒業生産業医

- 池上 和範 先生(株式会社 HealthCraft 代表医師)
- 吉武 英隆 先生(ダイハツ九州株式会社 担当役員(課長))

スケジュール

7日(土)	17:10	ラウンドテーブルディスカッションⅡ テーマ: 将来の産業医像について
13:15	18:00	夕食
13:40	19:00	意見交換会
14:00	20:00	交流会(22時頃まで)
		出席者 自己紹介
14:30	7:30	朝食
15:00	8:30	まとめ・今後の展望 ▷一瀬 進路指導副部長
15:30		閉会挨拶 ▷一瀬 進路指導副部長・佐藤学生部長
16:10	9:30	ホテルクラウンパレス北九州 出発
16:25	10:00	大学到着・解散
16:55		休憩

一日産業生態科学研究所(産業医学臨床センター)訪問

日時/令和7年2月7日(金)
場所/産業生態科学研究所、産業医学臨床センター
参加者/1年次生 19名



2月7日(金)に産業生態科学研究所を訪問する「一日産業生態科学研究所訪問」を実施しました。医学部1年次生に、産業生態科学研究所のことを知ってもらう機会となることを目的として企画されました。

参加した学生の感想

- 産業医経験者の先生方がとても生き生きとしていらっしやって、産業医という仕事はある程度の融通が利くこともあり、自己実現をしやすい、自分らしい働き方ができるのではないかと感じました。人工気候室や無響室などの設備が整っており、将来この環境を生かすような働き方も魅力的に感じました。
- 研究所では、最新の計測技術やデータ解析を活用した研究が進められており、産業医の役割の重要性を改めて認識しました。特に、労働環境による健康影響の評価方法や、それを改善するための具体的な取り組みについて学べたことが印象的でした。

スケジュール

時間	内容	担当教員	場所
8:50	集合		学生課
9:00~10:00	オリエンテーション キャリアについての講義	江口先生(産業精神保健学) 五十嵐先生(産業医実務研修センター) 西田先生[動画](労働衛生工学)	産業医学 臨床センター
10:00~12:00	産業医学臨床センター説明(30分) 局排を使った実習(90分)	川波先生、柴田先生(産業医実務研修センター) 東先生(労働衛生工学)	産業医学 臨床センター
12:00~13:00	昼 休 み (12:50に学生課に集合)		
13:00~14:00	実習①	永野先生(産業保健管理学)	人工気候室、無響室
14:00~14:30	キャリアについての講義	藤澤先生[講義]、李先生[実習] (職業性腫瘍学)	東棟4階 会議室
14:30~15:30	実習② (1グループ10人で2グループ: AB班とCD班)	友永先生(呼吸病態学)	職業性腫瘍学/ 呼吸病態学
15:30~16:30	PPT作成 (1グループ5人で4グループ:A~D班)	江口先生(産業精神保健学)	東棟4階 会議室
16:30~17:00	発表 (1グループ5分×4グループ:A~D班)		

産業医オフィス訪問

日時/令和7年1月17日(金)、令和7年2月28日(金)
訪問先/TOTO小倉第一工場ウエルカムセンター(北九州市小倉北区)
ダイハツグループ九州開発センター(福岡県久留米市)
参加者/1年次生 24名



1月17日(金)及び2月28日(金)に、卒業生が産業医として勤務している企業のオフィスを見学する「産業医オフィス訪問」を実施しました。

1月に小倉北区のTOTO小倉第一工場ウエルカムセンターを訪問し、2月は久留米市のダイハツグループ九州開発センターを訪問しました。

産業医の業務や工場見学をし、産業医としての働き方がイメージできる貴重な体験となりました。



参加した学生の感想

- 工場見学において、衛生陶器の生産工程を案内していただいたが、工場内の至る所にある掲示に驚いた。些細なことでも上司に共有するよう促すもの、検査により耳栓をつけていることを周知するものなど、労働災害を防ぐために一つ一つ工夫されていることを実感した。産業医の職務は、個人の健康管理から企業全体の産業保健活動まで多岐にわたっていて広い視野が必要となるため、医学生のうちから色々な体験をして知見を広げられるようにしたい。
- 産業医の仕事について知ることができただけでなく、工場の中まで見学することができ、より産業医がどのように関わっているのかがイメージしやすく、大変貴重な体験をさせていただいたなど実感しております。ただ、物を作るのではなく、安全対策を施しながら物を作るというその重要性に改めて痛感させられました。産業医が実際に働いている職場も見学することができました。産業医のやりがいについて知りたかったので、見学の最後の質疑応答でその点に触れていただけて、とても嬉しかったです。

学生による クリニカル・シミュレーション・ラボ活用術

日時/令和7年2月13日(木) 14:00~16:00
実施内容/静脈採血、静脈路確保、気管内挿管
場所/病院南別館4階 B室
参加者/1年次生 3名、2年次生 3名、3年次生 4名

2月13日(木) 14:00~16:00に静脈採血、静脈路確保、気管内挿管の3手技を医学教育担当教員山本先生にご指導していただきました。

臨床実習用モデルの人形を相手に、熱心に何度も練習をしていました。

学生にとって、大変有意義な講座となり、卒業後も今回の経験が生かされることと思います。



参加した学生の感想

- OSCE前の練習の練習として、血管を探したり針を刺すイメージが少しできるようになって良かった。
- これまで手技を実際に学ぶ機会は中々なかったため、とても珍しく楽しい経験が出来た。

人間力×キャリア・ベーシックス

学生・教員交流会(夕食付)

日時/令和6年5月15日(水) 18:00~18:40
場所/大学本館3号館 学生食堂
参加者/1年次生 104名、医学部先輩学生 43名、教員等 44名

参加した学生の感想

- 先生方や先輩方が親切に色々話しかけてくれたので、とても話しやすく、貴重な時間を過ごすことができた。
- 知らない分野の話や進路の話が聞けて大変参考になりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により中止していましたが、5月15日(水)に5年ぶりに実施しました。

このプログラムは、新入生が学長をはじめ指導教員や若手の臨床教員、先輩学生とともに食事をしながら語り合い、学生のコミュニケーション能力の育成を図りつつ、早く大学での生活に馴染む事を目的としております。

新入生たちは、学生生活や勉強方法、卒後進路などについて、教員や先輩達に積極的に質問していました。



人間力×キャリア・ベーシック

留学経験教員との交流会

日時/令和6年12月16日(月)
 場所/ラマツィーニホール 第1会議室
 講師/丸山 崇 先生(第1生理学)、石丸 知宏 先生(医学概論)
 参加者/医学部学生 12名

12月16日(月)に「留学経験教員との談話会」を実施しました。

アメリカのスタンフォード大学に留学経験のある丸山先生から、留学に興味のある学生が、体験談等のお話を聞けるよい機会となりました。



参加した学生の感想

- ・留学の体験談だけでなく人生設計に関わることについても丸山先生の実体験を交えたお話を聞いて、大変参考になりました。ありがとうございました。

医学部1年生と教員、産業医経験教員との談話会

日時/令和6年6月13日～6月28日(全10回) 12:50～13:30
 場所/大学本館1号館 1401会議室、1848B会議室、ラマツィーニホール 第1会議室
 参加者/1年次生 105名

	日程	1年次生	参加教員	
第1回	6月13日	10名	職業性中毒学 後藤 元秀 先生	学生部長 佐藤 寛晃 先生
第2回	6月18日	11名	呼吸病態学 友永 泰介 先生	産業生態科学研究所長 上野 晋 先生
第3回	6月18日	12名	進路指導部 一瀬 豊日 先生	保健センター長 川波 祥子 先生
第4回	6月19日	11名	産業精神保健学 日野 亜弥子 先生	進路指導部長 青木 隆敏 先生
第5回	6月19日	11名	産業保健経営学 永田 智久 先生	産業精神保健学 医学部学生委員会委員 江口 尚 先生
第6回	6月24日	10名	公衆衛生学 村松 圭司 先生	医学部長 酒井 昭典 先生
第7回	6月24日	9名	第1生理学 丸山 崇 先生	教務部長 齋藤 光正 先生
第8回	6月25日	10名	産業保健経営学 小田上 公法 先生	副学長 堀江 正知 先生
第9回	6月25日	10名	環境疫学 大久保 直紀 先生	第2解剖学 医学部学生委員会委員 森本 景之 先生
第10回	6月28日	11名	労働衛生工学 西田 千夏 先生	学長 上田 陽一 先生

アクティブラーニングの実践(若者人権講座)

日時/令和7年1月10日(金)15:45～17:30
 場所/ラマツィーニホール 小ホール
 講師/水谷 修 氏(夜回り先生)
 テーマ/若者たちに広がる覚せい剤、大麻、市販薬乱用
 ー 夜回り先生、いのちの授業 ー
 参加者/1年次生 101名

1月10日(金)に、夜回り先生として有名な水谷 修 氏をお招きし、若年層への薬物乱用の防止対策の取り組みの一環として、大学生を対象に薬物乱用問題に関する正しい知識を普及啓発することを目的として、ご講演をしていただきました。



参加した学生の感想

- ・先生の実体験を通してのお話には非常に心痛むものがあり、それと同時に薬物の恐ろしさを感じた。
- ・薬物乱用のリスクについては知っていたつもりだったが、それ以外の社会問題や今の子どもたちの現状について初めて知ったこともあり、とても考えさせられるものだった。とても有意義な時間だった。

産業医経験教員による講演会(卒業生によるキャリアワークショップ)

日時/令和6年6月11日(火)17:40～18:40
 場所/大学本館2号館3階 2301講義室、2302講義室、2305講義室
 参加者/1年次生 102名
 講師/両立支援科学 原田 亜理沙 先生「産業医キャリアと卒業後の生活」
 環境疫学 大久保 直紀 先生「臨床と産業の経験から」
 呼吸器内科学 村田 祐一 先生 「災害医療や実臨床について」



6月11日(火)に「卒業生による講演会」を開催しました。3つの講義室に分かれ、学内の産業医を経験された先生の学生時代の話や、産業医として経験された貴重なお話をいただき、将来産業医として働くことを具体的にイメージし、産業医に対する興味・関心がより一層強くなる良い機会となりました。

参加した学生の感想

- ・結婚や育児などと、キャリア形成の両立ができていた先生のお話を聞いてよかったです。
- ・避難所にいる人々の話を真摯に受け止める姿が当然の責務とはいえ素晴らしいことだと思いました。
- ・医師だけに言えることではないが、労働者の環境を良くすることは、まだ現代において解決していかなければいけない課題だと感じた。



6月13日(木)～6月28日(金)の期間に10回に分けて「医学部1年生と教員、産業医経験教員との談話会」を実施しました。

産業医経験のある先生方から産業医の仕事についての貴重なお話をと、1年生からの質問にも丁寧にお答えいただき、大変参考になりました。

参加した学生の感想

- ・産業医の業務内容・スケジュールに加え、所属先の選択の方法・タイミングや産業医大の様々なサポート体制について知れたことで、自分の将来への不安を少し減らすことができたのと同時に、産業医としての経験を生かすためにどのような進路を選択すれば良いのかをより考えるようになった。
- ・実際に専属産業医として活躍された方の話を聞いたのはとてもいい経験でした。



学生支援教員研修会(FD)

日時/令和7年2月14日(金)17:30～18:30 ハイブリッド開催
 場所/大学2号館2階 2201講義室
 参加者/教職員 50名(対面15名、オンライン35名)



2月14日(金)に教職員を対象とした教員研修会(FD)を2201講義室においてハイブリッド開催しました。

枝光キリスト教会 牧師 岩崎 一宏 氏を講師として「大学におけるカルト宗教の実態」というテーマでご講演をしていただきました。

昨今、カルト宗教に巻き込まれ、学生が当事者になるケースが全国的に発生しているといわれています。「なぜ学生が狙われやすいのか、どんな問題があるのか」等、カルト宗教についての実態を知る良い機会となる講演でした。

参加した教職員の感想

- ・宗教は本来崇高な物であるはずですが、人格破壊、経済的破綻させる、犯罪を教唆するようなカルト宗教は警戒しなければいけないし、学生さんに注意喚起が必要だと思う。
- ・担当学生が新たにはじめたボランティアなどの何かしらの活動の実態をできる限り聴取し、カルト宗教の可能性がないか確かめ早期発見・被害予防に努めたいと思いました。

発信力×キャリア・コミュニケーション

図書館の文献検索講習

日時/令和6年5月8日(水)15:40～17:30
 場所/大学6号館2階 コンピュータ実習室
 参加者/1年次生 103名

5月8日(水)に、医学部1年次生を対象に図書館の文献検索講習を開催しました。

この企画は図書館の文献検索機能を理解してもらうことにより、自主学習のモチベーションを高めることを目的としています。

参加した学生の感想

- ・医中誌Webの使い方や図書館のホームページなど、知らなかったことを実際にパソコンを操作して知ることができたのが良かったです。講習の始めにもらった冊子も、様々なことが書いてあって心強いです。
- ・これから医学書などを検索する機会が増えていくと思うので、使い方をしっかり身に付けたい。



第97回日本産業衛生学会

日時/令和6年5月25日(土)12:25~
場所/広島国際会議場 参加者/1年次生 5名



- プログラム**
- ① ランチョンセミナー19 電磁過敏症 — WHOの見解 —
 - ② シンポジウム 18 LGBTQ+労働者に産業保健はどう向き合うべきか
 - ③ 一般口演 47 健康支援・健康増進⑦

5月25日(土)に、日本産業衛生学会様のご協力により、医学部1年次生5名が、第97回日本産業衛生学会に参加しました。今年度は広島国際会議場で開催され、1年次生にとって大変貴重な経験となりました。さらに、当日は、学会スタッフをされていた卒業生産業医の先生方と交流を深めることができました。

参加した学生の感想

・実際に産業医をされている先輩方のお話を聞き、産業医は病気を未然に防ぐことに力を入れていること、感謝されることは少ないかもしれないが働く人が健康で退職し

ていくことにやりがいを感じているとんだ。産業医は働く人の健康を支えることで企業や日本社会を支えていると改めて感じた。

図書館所蔵の産業医学関連図書の紹介(ライブラリー カフェ)

日時/令和6年5月29日(水)・5月30日(木)12:50~13:20
場所/大学本館2号館1階 図書館視聴覚室 参加者/1年次生 30名

5月29日(水)・5月30日(木)に、医学部1年次生を対象に図書館所蔵の産業医学関連図書の紹介(ライブラリーカフェ)を開催しました。

図書館職員から、図書館や産業医学関連図書について説明を聞き、産業医学へのモチベーションを高めるとともに、図書館を有効活用できるようになることを目的としています。

参加した学生の感想

- ・実際に様々な本を読んで、知見を広げたいと思いました。
- ・産業医科大学の先生や先輩が本を多く出版していると知り、読んでみたいと思いました。



第54回産業医学推進研究会 九州地方会

日時/令和6年10月12日(土)13:30~17:30
場所/ラマツィーニホール 大ホール
参加者/1年次生 22名



- プログラム**
- 産業医学推進研究会九州地方会主催企画 活動報告
テーマ「臨床に活かした産業医の経験」
 - 産業医学推進研究会九州地方会・産業医科大学学会 共同企画教育講演
テーマ「産業保健職が知っておくべき皮膚疾患の基礎知識」
 - 産業医科大学学会主催 シンポジウム
テーマ「産業医大卒業生のキャリアの多様性」

10月12日(土)に、産業医学推進研究会九州地方会様のご協力により、医学部1年次生22名が、第54回産業医学推進研究会九州地方会に参加しました。第42回産業医科大学学会との共同開催であり、1年次生にとって初めての学会参加で、大変貴重な経験となりました。

参加した学生の感想

・どの先生方も口をそろえておっしゃっていたことは、人との縁を大切にすることだ。これからの大学生活でも様々な人と出会っていくと思う。人との出会いに感謝して、積極的に会話する姿勢を心がけていきたいと思った。人の病を治すだけでなく、その人がおかれている

生活環境も含めた治療法を提供できる医師になりたいと再度、思った。人が長く健康に働けることは、社会的にも、個人にとっても有益なことだ。そのことに対して、自分が貢献できるようにこれからの大学生活を有意義なものにした

第36回産業医学推進研究会 全国大会

日時/令和6年10月26日(土)13:00~
場所/大阪市中央公会堂
参加者/1年次生 5名

10月26日(土)に、産業医学推進研究会全国大会様のご協力により、医学部1年次生5名が、第36回産業医学推進研究会全国大会に参加しました。今年度は大阪市中央公会堂で開催され、1年次生にとって大変貴重な経験となりました。さらに、学会参加後に実施された懇親会にも参加し、卒業生の先生方と交流を深めることができました。

- プログラム**
- 【第一部】
●第一セッション
テーマ「他世代や他職種に自分の強み(特徴、取り組み)を知ってほしい~後輩を知るために~」
 - 第二セッション
テーマ「ベテラン産業医、保健師のこれまでとこれから」
 - 【第二部】
テーマ「他世代、他職種の交流~つながる・深める~」
懇親会

参加した学生の感想

・産業医学推進研究会全国大会に参加して、実際に産業医の方の話を聞き、大学の講義だけでは得られない産業医についてのノウハウや実際の現場でどのようなことをしているのかを学び、産業医学に対する関心を深めることが出来た。



医師祭医療部「医学講演」

日時/令和6年11月3日(日・祝)
場所/ラマツィーニホール 小ホール
主催/第44回産業医科大学医師祭 医療部



同じく医師祭11月3日(日・祝)には、医療部企画「医学講演」として、今年は北九州市長の武内 和久氏をお招きしてご講演いただき、大変盛況でした。

医師祭医療部「健康測定」

日時/令和6年11月2日(土)~4日(月・振休)
場所/屋内温水プール棟1階
主催/第44回産業医科大学医師祭 医療部



11月2日(土)~4日(月・振休)にかけて第44回産業医科大学医師祭「威風祭」が開催され、医療部企画「健康体力測定」を実施しました。動体視力年齢測定器、体組成計、骨密度測定器、ロコモティブシンドローム診断、血圧測定を来場者の方々

に体験してもらい、自分自身の健康について再認識するきっかけ作りができました。令和6年度「将来のキャリア形成学生支援」事業より、機器レンタル料等を助成しました。

編集後記にかえて

良医を育成するためのプログラムとして

大学は教育機関であり、医学部においては、学生に医師として修得しておくべき知識や技術を教育することが重要な役割であります。しかし、多くの医学的な知識や技術を身につけるだけでは、社会から必要とされる良医であるとは言えません。医師として確固たる目的意識を抱きつつ、豊かな人間性と社会人としての良識を兼ね備えることは、良医として医療を実践していく上で必要不可欠であると考えます。本学では以前から、卒業後に良医として活躍できるように、他学にはない様々な取り組みを行ってまいりました。学生支援プログラムはその一つであり、卒後のキャリアパス(目標の医師像)形成や医師・社会人として必要なスキルを身につけることを目標に掲げており、将来、良医として活躍するために、是非とも経験して欲しい内容から構成されております。幸いに、学生からは好意的な感想をいただいております。今後も内容をブラッシュアップして充実させるとともに、楽しく取り組むことができ、大学生時代の思い出に残るようなプログラムにしたいと考えております。引き続き皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



学生部長
佐藤 寛晃

アリスの会 四季の集い・冬

日時/令和7年1月9日(木)18:00~20:00
テーマ/全国初! 嗅覚・味覚センター開設までの道のり
参加者/医学部3年次生3名、4年次生1名、5年次生2名

1月9日(木)に、医学部の学生6名が「アリスの会 四季の集い・冬」に参加しました。「アリスの会」とは、2001年に産業医科大学医学部女性卒業生の会として発足した、女性卒業生の活躍を応援する会です。

柴田 美雅先生(嗅覚・味覚センター)が、「全国発! 嗅覚・味覚センター開設までの道のり」をテーマにご講演されました。講演後には、先生方と学生との談話会が行われました。

参加した学生の感想

・毎年参加させていただき、毎回違った角度から貴重なお話を伺うことができるのでとても楽しみにしています! 今回は気になっていた味覚、嗅覚のお話もありさらに先生の人生のお話もあり、盛りだくさんで最初から最後まで集中して聞かせていただきました。その後の意見交流会では進路の話など、たくさんの先生方に相談に乗っていただき、私達には味方がたくさんいるのだなど、とても心強かったです! 自分を見つめ直す良い機会になりました。ありがとうございました。

